北陸地方整備局の仕事 03

港湾・空港

に関わる仕事

経済と暮らし、そして未来を支える「港」

原材料、生活物資、食料、製造品の輸出入等、
我が国の貿易量の99.6%を占める港湾。
国内外からの空の玄関口である空港。
海上輸送網の拠点となる港湾、
航空輸送網の拠点となる空港の整備等を担当し、
北陸地域の経済と暮らしを支えています。

TYPICAL WORK

新潟港東港区 国際海上コンテナターミナル

新潟港東港区国際海上コンテナターミナルは、本州日本海側で最大のコンテナ※貨物取扱量を誇り、東アジア、北東アジア等の対外諸国と県内や背後圏地域を結ぶ物流の拠点となっています。現在は、船舶を波浪から守り安全な貨物の荷役作業を確保するため、防波堤整備等の機能向上を進めています。港湾の整備に伴い、背後に工場や企業が立地することによる新たな雇用の創出、クルーズ船寄港による賑わいの創出など、その波及効果は広域におよびます。※コンテナ：貨物輸送の容器

港湾・空港系の事業例

地域を支える、日本を支える北陸の港湾

北陸と世界を繋ぎ、
北陸の成長・発展を支えています。

金沢港

大型クルーズ船寄港に対応した岸壁の整備（石川県金沢市）

伏木富山港

非効率な荷役の改善、貨物量増加、施設老朽化に対応する中央ふ頭の再編整備
（富山県射水市）

敦賀港

国際物流ターミナルの整備による幹線輸送機能の強化
（福井県敦賀市）

新潟空港

滑走路端安全区域の確保に係る各種施設の整備
（新潟県新潟市）

大型浚渫兼油回収船「白山」

八戸港で座礁した船から漏れた油を回収作業中の「白山」
（所属：新潟港湾・空港整備事務所）

VOICES FROM THE FIELD

技術

港湾空港部
港湾計画課
眞井 里菜 Rina Sanei
2021年度採用

北陸地方整備局管内の港湾整備に必要な予算の要求や、港の将来的な計画の立案を行っています。我が国において輸出入貨物量の99.6%を取り扱う港湾は、人口や資産が集中する島国日本の生命線であり、物流・人流を支える交通基盤となっています。北陸港湾を取り巻く情勢を踏まえ、事務所や地方自治体など多くの関係者と密に連携し、業務へ取り組むことは国ならではの仕事だと感じています。各港の背景や歴史を踏まえて予算の要求を行い、地域から要請のある事業の進捗が図られることで、私たちの仕事が「地域の方々の暮らしを支える仕事」であることを実感しています。

技術

新潟港湾・空港整備事務所
第一建設管理官室
美濃 汰一 Taichi Mino
2018年度採用

新潟西港における航路浚渫事業の現場監督を担当しています。新潟西港は信濃川の河口に位置し、人流や国内物流の拠点となる港ですが、上流から流れてくる土砂による航路埋没が課題となっています。船舶が安全に航行できる水深を確保するため、海底の土砂をすくい取る浚渫工事を年間通して実施する必要があります。工事を進める上では、計画通りに進まないことや様々な課題がありますが、地域の方々の暮らしを支えることにつながるこの仕事に、大きなやりがいを感じています。

技術

新潟港湾空港技術調査事務所
調査課
市川 大聖 Taisei Ichikawa
2019年度採用

私は港湾施設の設計業務に携わっております。日本は海に囲まれた島国であり、貿易量の大半は船舶を利用しています。そのため『港』は外国や国内各地を結ぶ結節点であり、物流・人流の拠点としての重要な役割を担っています。設計業務では安定的な船舶の航行や安全な荷役作業を行うための岸壁や防波堤の設計に取り組んでおります。

国が行う港湾インフラ整備は大規模な事業が多いため、ひとつの成果に大きな達成感があり、とてもやりがいを感じます。また、広域にわたって各所の地域に貢献できることも国が行える仕事ならではの魅力だと感じます。